

# KOCV news

http://kocv.jp e-mail:info@kocv.sakura.ne.jp

皆様こんにちは。私は年末、実家の京都に家族で帰省し、京都観光もしてきました。神奈川に来てすでに10年、会う人にはすっかり関東の人だと言われ、タクシーの運転手にまで（地元だと言ってるのに）よそ者扱いです。親まで私のイントネーションに半笑いです。でもこちらでは関西なまりが仕事に差し支えるようなときもあり、関西弁をひかえる努力もしました。ふと隊員時代に現地になじめずよく卑屈な気持ちになっていたのを思いだし、一度は大事にしているものも捨ててまっさらな気持ちで始めることも大切だと、新年に思いました。ニュース担当：北

報告

## KOCV総会&講演会 無事終了しました。

事務局 高野忠裕(H7-1/ラオス/建築見積)

平成21年6月7日(日)にJICA横浜にて毎年恒例の総会が行われました。今年から会長が西山さんから畦地崇敬(14-1ブルキナファソ/植林)さんになります。西山さん長い間ご苦労様でした。そして、畦地さんよろしくお願ひします

講演会では、ラオスの伊藤OBに現在おこなっている無農薬野菜の農業の話をして頂きました。地縁も販路も無いところから、多品目栽培で、10種類ほどの新鮮な野菜を契約者に届け、農薬や化学肥料は使わず健康と環境を考えた有機農業を実践し、後継者育成の活動にも尽力されています。併せて神奈川県立かながわ農業アカデミーの笠間さんから神奈川の農業の現状の話聞くことができました。帰国後の人生の選択肢として新規就農の素晴らしさ、また反対に農業の大変さが印象に残りました。

今回も多くのOB/OGにお会いすることができ、激励や意見交換をいただいています。

## 平成21年度 青年海外協力隊神奈川県OB会スタッフ

平成21年6月7日

No	役職	氏名	隊次・職種	住所
1	会長	畦地 崇敬	14-1 ブルキナファソ/植林	横浜市港北区
2	副会長	吉永 加那	13-3 コロンビア/栄養士	相模原市
3	副会長	中西 雅美	6-3 パナマ/プログラマー	藤沢市
4	副会長	小島 海治	10-1 トンガ/音楽	大和市
5	運営委員	柳本 昌宣	9-3 マレーシア/建築	横浜市金沢区
6	運営委員	若狭 健一	9-1 パナマ/食品加工	相模原市
7	運営委員	奈良 貴子	11-1 ケニア/ポリオ対策	横浜市戸塚区
8	運営委員	伊藤 千晶	11-3 メキシコ/家政	相模原市
9	運営委員	前田 裕司	5-2 エクアドル 土壌肥料	山北町
10	運営委員	北 徹也	5-3 ニカラガ 花卉	茅ヶ崎市
11	運営委員	飯山 亮平	17-1 セネガル 村落開発	横浜市南区
12	運営委員	山崎 有通	9-3 ジンバブエ 都市計画	横浜市
13	事務局長	高野 忠裕	7-1 ラオス/建築見積	横浜市金沢区
14	副事務局長	霜村 忠	8-1 ホンジュラス/看護	海老名市
15	事務局員	光田 大輔	11-3 ブータン/コンピュータ	横浜市港北区
16	事務局員	長谷川 真	63-1 ベルギー/工作機械	大和市

※スタッフは運営委員以外にも会の活動の運営・企画を行う事務局員があります。興味のある方、協力して頂ける方、高野(takano.tadahiro@gmail.com)まで連絡を下さい。

## 平成21年度事業予定(案)

月	日	事業名	場所	主担当
4	11	森林づくり定着型ボランティア事業(以下森林P) WG会合、間伐・森の身体検査作業(～12日)	松田町寄	前田・畦地
	19	会計監査	JICA横浜	高野・はんだ
	25	協力隊まつり(～26日)	広尾	畦地・長谷川
	26	定例会	JICA横浜	事務局
	30	KOCVニュース発行	横浜	北
5	10	JOCA関東ブロック会議(キャラバン)	広尾	高野・畦地
	11	JOCA森林P打合せ	広尾	畦地・高野
	17	あーすフェスタ(～18日)	本郷台	長谷川・奈良
	24	中学生エッセイコンテスト担当者会議	JICA横浜	竹内・奈良
	30	全国植樹祭プレ植樹祭(森林P WG会議)	横浜	畦地・高野・WG
	30	JOCA[平成21年度第1回評議員会]・[第26回通常総会](～31日)	広尾	畦地
	31	定例会	中央林間	事務局
	31	NGOかながわ国際協力委員会	本郷台	高野
6	4	JICA-KOCV定例会	JICA横浜	事務局
	7	通常総会・講演会	横浜	事務局
	16	横浜NGO連絡会 総会	横浜	事務局
	18	21年度1次隊派遣隊員との壮行会	横浜	事務局
7	25	キャラバンにて県内市町村訪問(～9月上旬)	神奈川県内	小島
	25	ビーチクリーンアップ作戦(海岸清掃活動)	辻堂	中西
	1～20	横浜市Y150博覧会 ヒルサイド	横浜市	事務局
8		帰国歓迎会	横浜	事務局
9	5	横浜国際フェスティバル(～6日)	横浜	中西・吉永
		21年度2次隊派遣隊員との壮行会	横浜	事務局
		プレゼンスキルアップセミナー	横浜	兼平・事務局
10		中学生エッセイコンテスト2009一次審査	横浜	竹内・奈良
		協力隊秋募集 応募促進	横浜	JICAと協議
	3	キャラバンイベント・グローバルフェスタ(～4日)	日比谷	事務局
11		KOCVニュース発行	横浜	高野
	21	JOCA関東ブロック会議(～22)	山梨	畦地・事務局
12		21年度3次隊派遣隊員との壮行会	横浜	伊藤・事務局
		忘年会	横浜	畦地・事務局
1	23	JOCA平成21年度第2回評議員会・新春交流会(～24日)	広尾	畦地
		帰国歓迎会	横浜	伊藤・事務局
2		ハイテクノロジー見学ツアー	横浜	長谷川
3		20年度4次隊派遣隊員との壮行会	横浜	伊藤・事務局
		やまと国際フェスティバル	大和	長谷川
年間を通して実施		ホームページ・ML管理運営	インターネット	光田
		定例会	JICA横浜	事務局
		KOCVパッケージ・使ってください活動支援費	事務局	事務局
		森林づくり定着型ボランティア	松田町寄	前田・畦地
		キャラバン・フォトコンテスト	神奈川県内	高野
		NGOかながわ国際協力委員会	事務局	事務局
		JICA-KOCV定例会	事務局	事務局

報告

## 協力隊フォトコンテスト

キャラバン隊事業に関連してフォトコンテストが行われました。同様な事業は、「協力隊を育てる会」でも毎年カレンダーにする目的で行われています。今回は協力隊の活動を知っていただくという目的で行われています。13名のOVから応募があり、現在でもKOCVのHP内(http://kocv.jp/contents/info/photo\_contest\_works.html)で公開されています。

今後、何かイベントを行うときのパネルにしたり、各方面で紹介していきたいと考えています。最後に趣旨に賛同して応募させていただき、OB/OGの皆様ありがとうございました。



## 出前講座連携 プレゼンテーションスキルアップセミナー 開催される

数年前から計画だけはあったのですが、実現できなかった、プレゼンテーションスキルアップセミナーをやっと開催いたしました。内容はJOCAの地球生活体験学習からわかれわれが協力隊体験を伝えるためのノウハウを「協力隊体験から」何を伝えるか、そのOVが持っている体験から「3分間の作り方」を演習するといった内容です。

アンケート結果を見ても、満足していった方が多くまた今後も継続してやられた方がよいため回答が多くまずまずの成功だったのではないかと思います。特に出前講座の講師を務める機会のある方には、受講して頂きたいセミナーです。尚、現在の予定ではより多くの方に受講して頂きたい為にこの講座は定期的に行います。手法さえ身につければ特に協力隊体験にこだわらなくても日常の仕事のプレゼンにも使えると思います。年代が古くても古いなりにプレゼンが作りこめる内容になっています。次回は1月に行いますので、是非ご参加をお待ちしています。

## 関東ブロック会議が 開催される

山梨県にて関東ブロック会議が行われました。今回は各県とも活動報告を行い、中にはOV会というよりは県の紹介を行った方もいて、それはそれで楽しい報告を聞かせていただきました。神奈川の紹介の中では、まだ企画段階で会員の皆様には広報をしていますが「エッセイコンテスト表彰式&活動報告会」なるものを3月に予定しています。それに対する応援や激励の意見が多く出されました。各県とも不満を抱えていて何か取り組みを行いたい意向のようです。

来年は群馬で行われます。また各県の懐かしい顔に会えます。参加してもよいと仰せの方はその時期が来たらスタッフまでご一報ください。



## ビーチクリーン報告



### 畦地崇敬(H14-1/ブルキナファソ/植林)

強風のため一日延期となりましたが、7月20日(月)海の日に辻堂海浜公園しようなんの森前の海岸にてビーチクリーンを実施しました。

今回も主担当として中西さんに事前の広報、一緒にビーチクリーンを行ったWAVERSとの連絡調整などいろいろ動いていただきました。大変お疲れさまでした。そして今回は神奈川キャラバン隊の西川さんと河野さんには、事前の準備やキャラバンカーでの送迎など、かなりバックアップしていただきました。あらためて感謝いたします。また、神奈川キャラバン隊には参加者全員の保険加入、交通費支給、ジュースなどの用意も行っていただき、経費・安全面でも非常に助かりました。

参加者について。今回、地元でサーフィンをしているWAVERSの皆さんと一緒にビーチクリーンをしたことで、地元の方たちとの交流ができたことが大きかったです。協力隊クイズは少し難しかったかもしれませんが、ビーチクリーン終了後はお酒を飲み交わしながらお互いのことを知ることができたのではないのでしょうか。また、OVの秋本さんはご自身がお勤めの高校の生徒さん4人と一緒に来てくれましたし、はじめてきてくれたOVもいました。このイベントはこれからもぜひ続けていきたいものです。



### 中西雅美(H6-3/パナマ/プログラムオフィサー)

今年で、辻堂海岸でビーチクリーンのイベントを行うのは3年目。今年は、かながわ海岸美化財団の登録団体である、Waversの活動にジョイントしました。Waversは、毎週日曜日に早朝よりサーフィングをして、午後3時からビーチクリーンをしている団体です。代表者のたっちゃんこと、とみづかさんは、浅黒く焼けた、白いランニングシャツの似合う男性で、彼曰く、「18年前に始めたきっかけは、サーフィングに付き添ってきた子供が、砂浜に落ちていた釘で足を怪我したこと」だそうです。また、「拾うのは、自然界にないもの。たとえば、たばこの吸い殻やビニール、ペットボトルなど。ペットボトルの蓋はよく落ちていますが、本体は海の底にうかぶことなく、落ちています」と警告も。彼のアドバイスで、予定していた19日を延期しました。天気がよくても強風だとイベントは無理だと前日に言われ、そのとおり、19日は強風波浪注意報が出ました。

延期した20日は、くもり空で暑くもなく、イベント日和になりました。JOCAキャラバン隊もかけつけてくれて、延期の対応もしていただき、大変助かりました。ビーチクリーンは、一般の方も含めて、40人ほど集まっていたので、30袋以上のゴミを拾いました。

協力隊クイズでは、景品にフェアトレードの商品(パナマ、フィリピン、インドの民芸品)を用意して、サーファーの方、高校生、こどもたちといっしょに盛り上がりました。

イベント後は、バーベキューで地元の人たちと交流しました。Waversが用意してくれたものに、木村OBの自家製コロムビア風串刺し肉が加わり、海辺のひとときが、豪華なものになりました。

みなさまのご協力で、大変有意義な、楽しいイベントになりました。ありがとうございました。来年もどうぞよろしく～。



## 開発教育アンケート 会員の意識調査を 行ないました

8月に、プレゼンスキルアップセミナーの案内に同封して、小学校教師、理数科教師といった職種を中心に250名を対象として、開発教育に対するアンケートを行いました。

その内容を簡単ではございますが以下に報告します。

- Q 実際に国際理解教育・開発教育を職場内で関わりを  
持てる立場でいますか。**
- A 教員中心にアンケートを採ったので、確かに「職場で主導的立場」の方もいるが、「職場内・外とも関わりは無い」方も多い。
- Q 実際に関わる機会はございますか？**
- A 「少しは関わりがある」方も多いが、「興味はあるが機会や情報がない」方が予想以上に多い。  
⇒ 神奈川県・東京圏では全国的に先導的な立場の方や専門的に活動している機関もあるが、草の根レベルで開発教育の担い手の拡がりは少ないように見える。
- Q 今現在、国際理解教育・開発教育でどの視点を重視  
していますか。**
- A ・重視している点はバラバラであった。  
・「欧米の習慣」は重視されていない。  
⇒ さすがに協力隊の考え方は多様でかつ欧米側を向いていない。一般の関心とは違うかも。
- Q 今後同分野を推進していくためにはどこに対してどの  
ような働きかけが必要ですか。**
- A ● NHK に番組を持つように・教師に対して国際理解教育、開発教育の教育を行なう。  
● 学校でワークショップ・動物園で協力隊の活動を生かしてガイド・教育委員会・学校現場に対して生徒のホームビジットプログラム（県内・市内に在住する外国人宅）・大学の教職課程で科目履修・NGO・大学・文科省・教育委員会で連携・学校・教育機関にたいして研修等情報を流す。  
● 学校・地域が求める国際理解教育・開発教育を調査し、そのニーズに応える活動。  
● HP で情報を検索できるようにする。  
● 文科省に対して、指導内容や時間的なゆとりが必要。プラスアルファな事をしている時間が今はほとんど無い。

簡単な調査だったので、この程度しかわかりませんが、それでも実態として開発教育や国際教育が考えている以上に普及していないといえるのではないかと思います。また学校の教員は現状の仕事をごさすことに精一杯で、無駄に疲弊しているのではないかと、似たような問題を抱えているOB/OG 教員同士を繋ぐ機会があればもっとおもしろいことができるのではないかと。などなど考えさせられました。KOCV としても出前講座等を通じて地域社会の一助になればということ強く思いました。

### 報告

## 協力隊応募促進支援キャンペーン 関東キャラバン隊

西川知子(H5-1/ザンビア/理数科教師)

青年海外協力協会の協力隊神奈川県キャラバン隊の一員として、7月1日から8月27日までの間、神奈川県内津々浦々を回ってきました。訪問したのは県庁を振り出しとして県下33の全市町村役場のほか、各地の商工会議所また各種教育機関、メディアなどです。自分は神奈川県生まれ育ちを自負していましたが、正直今回初めて訪れた場所もあり、改めて自分の故郷を見直す貴重な機会となりました。また、どこでも非常に暖かく迎えていただき、来年45周年を迎える協力隊事業が積み重ねてきたものの大きさを実感すると同時に、各地域の抱える課題に対する我々 KOCV としての今後の協力の可能性の大きさも強く感じました。行った先々でお世話になった皆さんのOB・OGの方々にも、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 小野田寛郎氏講演会報告

小島海治(H10-1/トンガ/音楽)

10月24日(土) 足立区勤労福祉会館において、東京OB会、千葉OB会、神奈川OB会の1都2県共同主催で、小野田寛郎氏による「戦後、私たちが失った心」というタイトルでの講演会が行われました。200名収容の会場において、スタッフを含めほぼ満席になるほどの聴講者が参加され、小野田氏への関心が非常に高いものを感じられました。

氏はご存知のように、フィリピン・ルバング島のジャングルにおいて、30年間終戦を知らないまま陸軍少尉として、昭和49年に鈴木紀夫青年に発見されるまで生き延びていた方です。個人的な話で恐縮ですが、氏は大正11年3月生まれということで、3年前に亡くなった私の父とまったく生年月が一緒であり、また、日本に帰還した時が私と同じ51歳ということでもあり、何かとても引き付けられるものを感じました。

氏は現在87歳ですが、ということは帰国してから36年が立ち、ジャングルでの生活の30年以上の年月が立っているにもかかわらず、私の見たところ、顔は30年前とあまり変わらず、背筋がしゃっきりとして、かくしゃくとしていた姿がとても印象的でした。

講演の内容は、靖国神社参拝問題や民主党批判など、一部批判を免れないものもありましたが、随所に引き付けられるものを感じました。会場で、小野田氏が書いた「たった一人の30年戦争」という本が販売され、買って帰り読みましたが、30年間のジャングルでの生活のことが書かれていて、今まで知らなかった小野田氏のことがよく分かり、とても感銘を受けました。

氏は、現在はブラジルと福島県にある小野田自然塾との往復の生活をしているそうです。末永くお元気に、また、奥様と幸せに過ごされることを願いつつ、報告をしめらせていただきます。

## 横須賀市役所訪問

8月にキャラバン隊が神奈川県内の市町村を訪問いたしましたが、その中でもひととき反響の大きかった横須賀市に、霜村、長谷川、高野が12月25日に訪問しました。横須賀市の国際交流課は松本課長をはじめ、高橋さん、桐ヶ谷主査、横須賀国際交流協会の新倉事務局次長と横須賀市の国際交流課の事業について意見交換を行いました。大変、熱意のある方ばかりで「隊員として行く時には表敬訪問に来るが、帰ってきた時の表敬が来ない。」「協力隊OB/OGは貴重な人材である。横須賀市の国際交流課の事業にも主体的にリードして欲しい」等の意見が出されました。

現在、横須賀市では災害時外国人サポーター養成講座を行なっています。1月16日(土)に田戸小学校体育館にて避難所宿泊体験外国人被災者支援体験を行ないます。

[http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/web-book/koho\\_free/0912/6\\_4.html](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/web-book/koho_free/0912/6_4.html)

同じイベントで、国際交流協会を通さないと有料のようです。  
<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/koza/saigai/hinanjyo.pdf>

横須賀在住の方、ぜひ参加してみてください。

尚、参加希望者は、平成22年1月8日(金曜日)までに住所・氏名・電話番号を往復はがきかファクス(電話(046)827-2167)、Eメール(npo-yia@kb3.sonnet.ne.jp)でNPO法人横須賀国際交流協会(〒238-0006日の出町1の5 電話(046)827-2166)へ。連絡願います。今後とも、横須賀の自治体とは連携して活動を行ないたいと考えています。

市内在住で、趣旨に賛同していただける方がいましたら、高野まで連絡いただければ幸いです。



## JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト審査

奈良貴子(H11-1/ケニア/ポリオ対策)

KOCVでは、JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト中学生の部1次審査を毎年実施しております。今年の募集テーマは、「行動～地球と私のためにできること～」。友達や家族と話したこと、学校で習ったこと、本や新聞、テレビを通じて感じたこと、自分自身の体験・発見や最近知ったことなどから、自由に題材を探せるとあって、神奈川県内から2,174通の応募がありました。

審査員は、KOCVから、15名(うち郵送審査員7名)。KOCVの分科会であるWAVEの会から10名(一般2名含む)の総勢25名体制で挑みました。

審査は、まず各審査員に割り当てられた作品(約100通)から、優秀作品を1～2通選んだ後、その優秀作品を全審査員が審査する方法をとり、じっくりと作品を審査しました。

自分の言葉で述べられている作品、文章の構成力に優れ読み手をひきつけるような作品が1次選考を通過しました。

最終結果は12月末の予定です。神奈川県内から1通でも多くの作品が入賞することを願っています。審査員の皆様ご協力ありがとうございました。

## 神奈川森林づくり 定着型ボランティア 事業活動報告



- H21年
- 5月24日(土) プレ植樹祭参加(秦野市秦野戸川公園) 第7回WGミーティング(場所同上): 森林作業計画作り
  - 6月28日(日) 第8回WGミーティング(寄水源林): 間伐作業。やどりき水源林の生態について知る。サマーキャンプの活動内容決定
  - 7月25日(土) 第9回WGミーティング(北山町): NPO「丹沢森の仲間たち」の森林体験教室を見学 森林体験活動のノウハウを習得。
  - 8月23日(日) 第10回WGサマーキャンプ(寄): 神奈川県内の帰国隊員に森林保全活動の紹介間伐。水質調査。
  - 10月10日(土) 全国植樹祭カウントダウンセレモニー(赤レンガ倉庫): やどりき水源林での活動の広報 木工品の展示、アフリカン打楽器の演奏、森のスタンプラリー、
  - 10月17日(土) 第11回WGミーティング1日目(寄): 寄地区の住民が進める芋焼酎のための芋ほりイベントに参加し地域交流。
  - 10月18日(日) 第11回WGミーティング2日目(寄): 寄文化ツアー 寄の歴史講義、フィールド視察

## 第61回 全国植樹祭2010かながわ (秦野会場)出展します

かねてよりJOCAと松田町寄(やどりぎ)の水源林保護ボランティア事業に取り組んでいましたが、この度、神奈川県で開催される全国植樹祭にあわせて、JOCA・KOCVの有志でブースを出展するための県民提案を提出していました。それが採用されて秦野会場に出展することになりました。

出展内容はJOCAと協働で行っている寄水源林での森づくり活動についてのパネル展示及び青年海外協力隊植林隊員の活動展示。枝打ち材を利用したバードコールの販売、森づくりに関わっているボランティアによるパネルトークを行う予定です。

平成22年5月23日、秦野市県立秦野戸川公園で行われます。同地域にお住まいの方、事前に案内を出しますので、是非ご参加のほどよろしく願います。